



奥能登の文化財を守る — 被災文化財の現在

日本常民文化研究所は、長年にわたり奥能登地域の歴史・文化について調査・研究を行い、多くの成果につながりました。またその過程で、たくさんの方の奥能登地域の皆様のご援助、ご協力をいただいております。

そのような中、2024年1月1日に巨大な地震が能登半島を襲いました。

とくに新聞にも報道された重要文化財の**時国家住宅**や**角海家住宅**の無残な姿は、長年そのお宅に通い、民具、古文書などの資料を整理し学んできた私たちに、大きな衝撃でした。

そこで本研究所では、4月19日から4日間、輪島を中心とした地域へ赴き、とくに文化財の被災状況を目の当たりにしてきました。

本写真展では、奥能登の豊かな歴史と文化が大地震により被災している現状と、今後の地域の復興にとって文化財が大切な存在であることをお示しし、多くの皆様と共有したいと思います。

2024年6月

神奈川大学日本常民文化研究所